

「バカ」に
なれる人ほど
「人生」は
うまくいく

佐伯益咲寿
Masatoshi Saeki

はじめに

いま……

「もやもや不安」を

抱えている人たちへ。



自分が知らない世界のことを知ろう

自分の胸に手を当てるつもりで、自分に聞いてみてほしいんです。

ちゃんと生きている、真面目に働いているつもりなのに、どうして漠然とした「もやもや」や、この先の不安がずっと付きまとうのだろうか、と。

自分は何も持っていない。この先も確実なものなんてないし、こういう時代だから仕方ない。メディアから流れてくる情報もネガティブなものが多いから。そんなふうに考えてしまっていないでしょうか。

僕は違うと思う。

もやもや、不安の正体は「自分の人生を自由にしておいてあげていない」からです。自分の人生なんて所詮しょせんこんなものだ。なんて、誰に言われたわけでもないのに自分で勝手に縛りつけてしまっている。

無意識にずっともやもやして、本当はもっといろんな可能性があるのに閉じ込めてしまっているから苦しいんです。そう思いませんか？

だとしたら、それは誰のせいでもない。世の中のせいでもメディアのせいでもない。自分が自分を苦しくさせているだけ。そんなことしなくていいじゃないですか。

だけど……自分を自由にさせるなんて難しい、いろんな制約もある。そんなふうに反射的に思ってしまう人も多い。

——知ってます。でも、それだって本当は違う。

なぜなら、自分はこうだからできない、こんな制約があるから難しいというものも「自分が見ている世界」「自分が知っている世界」だけで考えて判断するからそうなってしまうわけです。

自分がまだ知らない世界なんて、たくさんありますよ。

無重力の世界に行けば、どんな人だって宙に浮かべるように、自分の世界から一歩外に出れば「こんなこと無理だろう」が、案外そうでもなかったりします。

ただ、そういう世界があるのを知らないだけ。知れば可能性はいくらでもある。僕はそう思って生きてきたし、実際にそうでした。

働く人はアーティストだと考えてみる

もちろん誰だって自分が知らない世界に足を踏み出すのは、わくわくする反面、怖さだってある。知らない世界で痛い目にあったり、失敗して挫折することを考えたら、今の自分の世界にとどまっていたくなる。それも自由です。

だけど、そんな人生、
楽しいですか？

僕は、それはつまらないと思う。

仕事だから失敗しちゃいけないとか、働くことは現実的な問題だから冒険なんてできないとか、そういう考え方を、僕はしません。

僕らの会社のビジネスだってそうです。基本は、人と同じようなことをやりたくないんです。他と同じような事業はやりたくない。他でもやっているということは、つまり僕らじゃなくてもいいわけじゃないですか。

他がやっている同じようなことをやって「競争」で勝つ発想がない。

価格競争だとか、他よりいい条件で説得するとか。そんなのは疲れるし、クリエイティブじゃないから楽しくありませんよね。

だから、僕らはまだ世にないものを生み出す、創造していく。新しいものをマーケットニーズから見つけ、イノベーションを起こす考え方を大事にしています。
なぜなら、

僕は人生はアートだと
思ってますから。
仕事もアート。働くのもアート。
働く人はアーティストなんです。

たとえば音楽アーティストは自分の楽曲を通して、自分の世界観やメッセージを発信して、ファンの人にエネルギーを提供しますよね。落ち込んでいた人が前を向けたり、何かに挑戦している人の後押しになったり。

どんなビジネスも基本的に、そういう役割を持っていないとダメだと思う。アーティストなら自分の狭い世界なんてどんどん打ち破って、新しい可能性を周りを見せていくのは当然じゃないですか。

僕は21歳のときに瀬戸内海にある小豆島というところから、50万円だけを抱えて

東京に出てきました。何かツテがあつたわけでも、確実な計画があつたわけでもない。何も知らないしわかつてなかった。

ただ小さな島の小さな自分の世界から出て大きくなる。それだけです。笑われるかもしれない。でも、案外そんな単純な動機でも間違つてはいないんです。

とりあえず東京に出るだけでも夢は広がります。確実に目にするもの触れるものは違うんだから。小豆島（この島が悪いわけではないですよ。最近外国人観光客も訪れる美しい島です）だけで物事を考えるのと、東京でもっと広い視野から考えるのでは見つかる選択肢が全然違うのですから。

自分の枠から出て、もっと自由にものを見て考える。あえて言うなら、知識や情報武装して戦うのをやめて「アタマ空っぽ」にして、新しいものを入れる。そんな生き方、働き方なら誰だってできる。何も持つてない僕だってできたんです。

踊らされるのはやめて自分の人生をつくろう

今は、メディアや周囲の情報にみんな踊らされています。目の前の情報がたくさん

あって、ソーシャルネットワークで目立つ人がいて、そんな人にどうやったらなれるのかと。

情報があつて、やれそうなことがたくさんあるのはいいことです。ただ、多くの人が「結果を考えてから」やりますよね。自分ができるかできないか。失敗するか、しないか。

そこで、失敗した人の情報に触れたら「やっぱり無難に生きるほうが正解かもな」と思ってしまう。

最初から、できるかできないか、失敗するかしないかを考えている時点で確率論からすれば「半分」になるわけです。50%も自分で可能性を低くしてしまっている。

わかりますか？ できるできないを考えていることが、そもそも自分の可能性を半分も消してしまってるんです。

だから、どうせなら「できる」と思ってやったほうがいい。これは僕の経験からの感覚論ですが、そんな間違つてはいないと思います。

今は、本当にメディアに踊らされている部分があつて、逆から考え

れば「いい人」に出会って影響を受けることもできる。自分が意識的、能動的にそういう人の情報を取りに行く、出会いに行けばいいんですよ。

なぜ、そういうことを言うかというところ、人生、働くことは出会う人によってすべて変わってしまうから。

みんな「どんな仕事をしたいか」ばかり考えますが、そうじゃない。「どういう人と仕事をするか」のほうが大事です。どんなにやりたかった仕事でも、どんな人とどんな環境でやるかで得られるもの、出せるものが全然違う。ここは意外にみんな考えないんですね。

人間は環境に左右される生きものです。自分がどんな環境を探して選ぶかが大事で、それによって結果的に人生も大きく変わります。

これから何が流行るか、何をすれば儲かるかではなくて、どんな環境に自分を置けば自分の人生に対してプラスが大きいかをよく考えてみてほしいんですね。いわゆる「人生丸儲け」と思えるような環境にしたほうがいい。

働く時間は人生の中でやっぱり長い。そこでどんな空気を一緒に吸って、どんな

時間、どんな楽しいこと、喜びを共有できるかで人生の充実度、満足度は変わってくるじゃないですか。

これは会社に勤める人だけではなくて、今増えている副業や複業もそうだし、新しく自分でビジネスを始めるときだってそうです。

すごく尊敬できて、能力がありエネルギーも実行力もある人となら、たとえば「ラーメン屋をやろう」と考えていてもパスタ屋だって肉バルだって何でもできる。だから本当に大事なものは「何をするか」じゃないということなんです。

僕は「毎日が人生そのもの」と思って生きています。

人生は一度限りで脱落したら終わりのゲームではない。毎日が人生そのものだから、毎日やり直すことだって可能。そう思える人と一緒に、毎日、新鮮な挑戦、クリエティブな仕事ができる環境を選べばいいだけ。

この本で、人生って、働くって、思っているよりもっと自由でアートなんだなと考え方をシフトできる「仲間」が増えれば僕は幸せです。

はじめに

いま……

「もやもや不安」を抱えている人たちへ。

自分が知らない世界のことを知ろう

003

働く人はアーティストだと考えてみる

005

踊らされるのはやめて自分の人生をつくろう

008

第1章

「人生はアート」。

自分の人生は自分でデザインする

持たざる人の時代が来た

020

自分の中心に何がある？

024

新しい働き方が未来をつくる

働くだけの人は要らなくなる 052

大きな組織を目指すより小さな組織がいい理由 056

組織と自分の枠から出てみよう 060

自分の“中心”と向き合う 028

人生丸儲けしたいなら、もっと自分を信じよう 030

あなたの応援団を集めるには 034

給料を「安定」と思っていないませんか？ 038

成功の反対は失敗ではない 042

人生をデザインし直せばいい 046

共存の生き方、働き方にシフトする
収入ポケットをもっと自由に 068

第3章

成功ってなんだろう？
幸せになるための方程式

幸せになれる方程式なんてない 074

成功する人になるためには 076

いい顔をして生きていけるかどうか 080

己のことより大きなものを持てるか 084

一日三生で生きる 086

人生かっこよく生きられるかどうか 090

人との関わりの中で	
これまでの人生経験を生かす	094
愛をすべての始まりに	098
相手に合わせて行動するな	102
お金と自分の可能性は同じ	106
1万円も1億円も同じだから	110
次に行ける切符は自分が持っている	114
悩んでも悩まなくても同じ	118
自分の「型」をつくるために時間を使う	122
心を使う時間を大事にする	124
逆境の苦しい時間をどうとらえるか	128

自分をプロデュースする 力をつける練習

成功する人は自分の見せ方を考える

134

自分を売る「営業」には方程式がある

138

「共存」するために動く

142

「持たない」が強みになる

146

本当の自分と向き合ってみる

150

「人」をいつも真ん中にする

154

「強気」になりなさい

158

「バカ」になれる人ほど

「人生」はうまくいく

「心」の時代だから「頭」は捨てていい 164

「理念集団」で生き残る 166

古くて新しい「三方良し」でやっていく 168

刈り取りビジネスではなく、何かを「生む」ビジネス 171

心で感じる生き方をしよう 174

「心」がわかる人と僕らは仲間になりたい。 178